

環境経営レポート

(対象期間:2024年6月~2025年5月)



丸順商事有限公司

発行日:2025年7月10日

1. 組織の概要

名称及び代表者名

丸順商事有限会社

代表取締役 矢部 要

所在地

本社事業所：東京都羽村市富士見平 2-1-19

瑞穂車庫：東京都西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎 1307-4

環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者：取締役 栗原 津巳 E-mail: t-kurihara@marujun-shoji.co.jp

担当者：取締役 木下 妙子 E-mail: k-taeko@marujun-shoji.co.jp

連絡先：042-554-2229 (TEL)

042-554-7889 (FAX)

事業内容

- 1) 一般廃棄物・産業廃棄物及び特定家庭用機器廃棄物の収集運搬業務
- 2) 一般廃棄物中間処理業（ふとん類）・浄化槽清掃業

事業の規模

・一般廃棄物収集運搬

許可範囲	許可番号	許可年月日	有効期限
羽村市	1号	令和6年4月1日	令和8年3月31日
青梅市	25号	令和6年4月1日	令和8年3月31日
福生市	507号	令和5年9月16日	令和7年9月15日
瑞穂町	11-17号	令和6年3月15日	令和8年3月14日
昭島市	94号	令和6年4月1日	令和8年3月31日
武蔵村山市	13号	令和6年1月20日	令和8年1月19日
入間市	31号	令和6年4月1日	令和8年3月31日

・一般廃棄物処分業（中間処理）

許可範囲・品目	許可番号	許可年月日	有効期限
羽村市（ふとん類）	2号	令和6年4月1日	令和8年3月31日

・浄化槽清掃業（収集・運搬）

許可範囲	許可番号	許可年月日	有効期限
羽村市	1号	令和6年4月1日	令和8年3月31日

・産業廃棄物収集運搬

許可範囲	許可番号・許可年月日・有効年月日	許可品目
東京都	第 13-10-032171 号 令和 2 年 8 月 4 日 有効：令和 7 年 8 月 3 日	燃え殻、汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類（以上 11 種類）
神奈川県	第 01406032171 号 令和 5 年 12 月 26 日 有効：令和 10 年 9 月 10 日	燃え殻、汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、動植物性残さ、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず、がれき類（以上 10 種類）
埼玉県	第 01102032171 号 令和 2 年 11 月 13 日 有効：令和 7 年 11 月 8 日	燃え殻、汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、動植物性残さ、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類（以上 10 種類）
山梨県	第 01900032171 号 令和 4 年 7 月 3 日 有効：令和 9 年 7 月 2 日	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類（以上 7 種類）
群馬県	第 01000032171 号 令和 5 年 7 月 4 日 有効：令和 10 年 7 月 3 日	汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず、がれき類（以上 10 種類）

・収集運搬車両及び営業車両

形式	積載重量	燃料	保有台数
塵芥車	3 t	ディーゼル	7 台
ダンプ車	2 t	ディーゼル	1 台
平ボデー車 (キャブオーバー)	4 t	ディーゼル	1 台
	3 t	ディーゼル	1 台
	2 t	ディーゼル	2 台
	0.35 t	ガソリン	1 台
バン	2 t	ディーゼル	2 台
脱着装置付コンテナ 専用車	4 t	ディーゼル	2 台
	3 t	ディーゼル	2 台
糞尿車	3 t	ディーゼル	1 台
粉粒体運搬車	10 t	ディーゼル	1 台
営業車	--	ガソリン	4 台
	--	電気	1 台
合 計			26 台

・収集運搬及び処理量（2024年6月～2025年5月）

一般廃棄物：6,372 t

産業廃棄物：3,623 t

し尿・浄化槽：562 t

廃家電類：1,181台（テレビ472台・冷蔵庫376台・洗濯機318台・エアコン15台）

ふとん類の処理：1.39 t

・売上額（2024年6月～2025年5月）

43,653万円（税抜き）

・設立年月日

昭和42年11月1日

・資本金

3,000万円

・従業員数

37名

・積替え保管施設

本社：積替保管面積：498 m² 保管上限量 8.0 m³

・一般廃棄物 中間処分（本社）

種類：ふとん類

処分方法：ふとんを裁断して布と綿に分離する

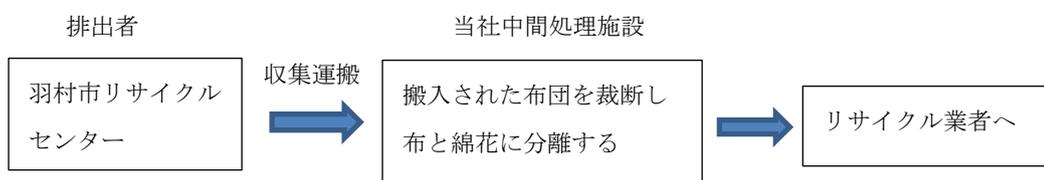
処理能力：0.2 t / 日

・事業年度

6月1日～5月31日

・化学物質の取扱いはありません

一般廃棄物中間処理（ふとん類）フロー

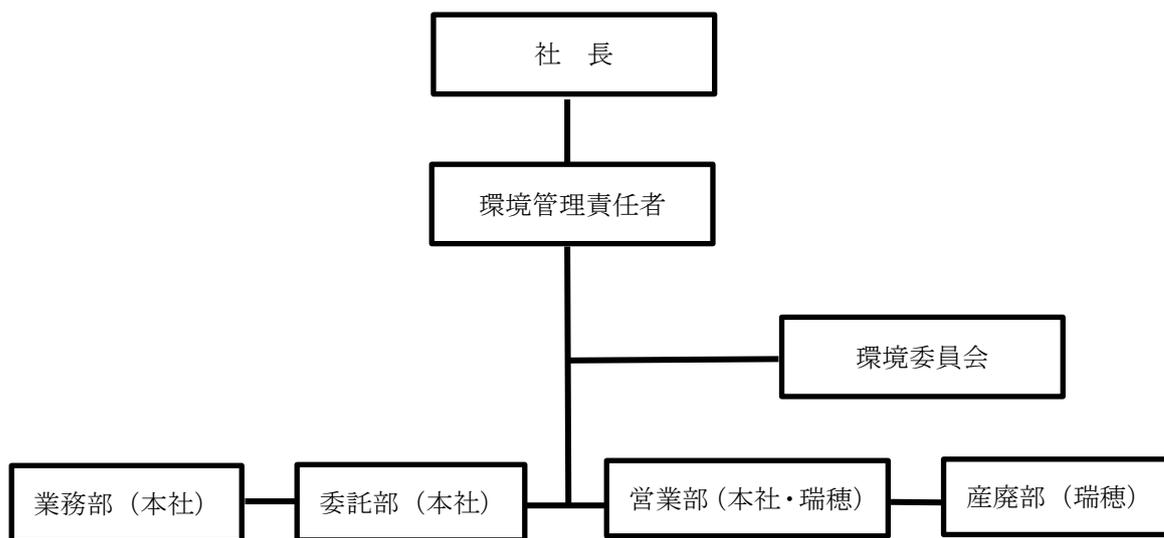


2. 対象範囲

登録組織名 : 丸順商事有限会社

関連事業所 : 瑞穂車庫

丸順商事有限会社 環境システム組織図



役割と権限

代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針を策定する。 ・EA21の実行に必要な資源（人、物、金）を用意する。 ・環境管理責任者を任命する。 ・EA21の全体的な取り組み状況を評価し、見直し必要な指示を与える。 ・課題とチャンスを明確にする。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システム要求事項を確立し、実施し、維持することを確実にする ・環境経営システムの構築・運用状況を社長に報告する。
環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・環境マネジメントに関する全社で検討する場とする。社長を議長とし、毎月開催する。メンバーは社長、環境管理責任者、環境事務局及び各部門長とし、必要に応じて社長及び環境管理責任者が指名したものとする。環境委員会は職長会と兼ねて実施する。
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・各部門の環境目標、活動計画を策定、各部門の環境マネジメントシステムの実行の総括、各部門の固有の役割を持つ。
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営目標、活動経営計画の実施。 ・環境に関する責任あるやり方で業務の実施。 ・問題があつた場合、部門責任者へ報告。

3. 環境経営方針

{ 基本理念 }

丸順商事有限会社は、廃棄物収集運搬業(一般・産業)・資源物(有価物)収集運搬業を通して、環境・安全を第一に考え、この美しい自然と歴史を次世代へ継承する環境保全活動に取り組み、市民・顧客・社会・そして全社員からの信頼・支持を継続的に維持し続ける企業を目指します。

{ 行動指針 }

1. 当社事業の特性を踏まえ、以下の環境活動に重点的に取り組みます。

- ①電力・収集運搬車の燃料消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ②節水の徹底
- ③自社廃棄物の減量
- ④環境に配慮した事務用品、消耗品の購入
- ⑤地元地域・所属組織等の環境活動への積極的な参加
- ⑥顧客サービスの向上

上記について環境目標・活動計画を定め、定期的な見直しを実施し、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束した事を遵守します。

3. この環境方針は全従業員に周知する。

制定日：2013年 1月 11日

改訂日：2020年 9月 18日

丸順商事有限会社

代表取締役 矢部 要

4. 環境経営目標と実績

2024年度の実績

環境経営目標項目	単位	2021年度 実績(基準)	2024年度 目標	2024年度 実績	達成率	判定
電力の使用量削減	(kWh)	18,154	17,882 (1.5%削減)	19,109	93.6%	×
ガソリン使用の削減	(L)	2,474	2,880 (2024年目標 2425Lの20%UP)	3,227	89.2%	×
軽油1Lあたりの売上増大 注1)	(L)	54,832		49,965	100.7%	○
	(円)	8,344	8,678 (4%UP)	8,737		
灯油使用の削減	(L)	813	789 (3%削減)	894	88.3%	×
総CO ₂ 排出量	(kg-CO ₂)	156,964	153,825 (2%削減)	146,445	105.0%	○
水使用量の削減	(m ³)	435	428 (1.5%削減)	376	113.8%	◎
自社廃棄物の削減	(kg)	1,412	1,370 (3%削減)	1,092.0	125.5%	◎
グリーン購入促進	品目	多品目購入	多品目購入	—	—	○
地域活動への 取組、参加	回数	58	61 (3回増)	78	127.9%	◎
新規顧客の拡大	件	33	43 (10件増)	35	81.4%	×
回収漏れ件数の削減	件	48	36 (12件削減)	52	69.2%	×

* 2021年度=2021年6月～2022年5月

* 判定: ◎=110%以上の達成、○=目標達成 △=95%以上 ×=95%未満

* 2021年度 東京電力調整後排出係数(0.442kg-CO₂/kWh)使用

* 2021年度 中央電力エナジー調整後排出係数(0.476kg-CO₂/kWh)使用

* 液化石油ガス(LPG)については少量使用の為、環境目標から除外としています

注1) 軽油削減目標は、売上金額/軽油使用量で算出し、1リットルあたりの金額目標とする

2025年～2027年度の目標

環境経営目標項目	単位	2024年度 実績(基準)	2025年度 目標	2026年度 目標	2027年度 目標
電力の使用量削減	(kWh)	19,109	19,013 (0.5%削減)	18,918 (1%削減)	18,822 (1.5%削減)
ガソリン使用の削減	(L)	3,227	3,211 (0.5%削減)	3,195 (1%削減)	3,179 (1.5%削減)
軽油1Lあたりの売上増大 注	(L)	49,965			
	(円)	8,737	8,824 (1%UP)	8,911 (2%UP)	8,999 (3%UP)
灯油使用の削減	(L)	894	890 (0.5%削減)	885 (1%削減)	881 (1.5%削減)
総CO ₂ 排出量	(kg-CO ₂)	146,437	145,705 (0.5%削減)	144,972 (1%削減)	144,240 (1.5%削減)
水使用量の削減	(m ³)	376	374 (0.5%削減)	372 (1%削減)	370 (1.5%削減)
自社廃棄物の削減	(kg)	1,092	1,081 (1%削減)	1,070 (2%削減)	1,059 (3%削減)
グリーン購入促進	品目	—	多品目購入	多品目購入	多品目購入
地域活動への 取組、参加	回数	78	80 (2回増)	82 (4回増)	84 (6回増)
新規顧客の拡大	件	35	37 (2件増)	39 (4件増)	40 (5件増)
回収漏れ件数の削減	件	52	50 (2件削減)	48 (4件削減)	46 (6件削減)

* 2024年度＝2024年6月～2025年5月

* 2023年度 東京電力調整後排出係数(0.408kg-CO₂/kWh)使用

* 2023年度 中央電力エネルギー調整後排出係数(0.478kg-CO₂/kWh)使用

* 液化石油ガス(LPG)については少量使用の為、環境目標から除外としています

注1) 軽油削減目標は、売上金額/軽油使用量で算出し、1リットルあたりの金額目標とする。

5. 環境経営計画の取組結果とその評価

環境目標	具体的行動計画	実施状況	取組結果と評価	次年度の取組計画
電力使用量の削減	エアコン使用時の室温管理を徹底する (冷房28℃以上・暖房20℃以下)	○	今年度も猛暑の夏となりましたが、事務所については室温管理を徹底致しました。 エアコンのフィルター清掃も稼働前に実施した。 事務所内の遮光対策(よしず・遮光カーテンを設置)も実施されていました。 事務所で使用しているPCも省エネモードにて実施。 クールビズについても5月から10月まで実施(営業、事務員はポロシャツにて仕事をしている)現場も暑い日は早めに半袖にて作業可として取り組んでいる。 節電に対する作業員意識は非常に高く持っておりますが、夏場はとて暑いので早めにエアコンの電源を入れ休憩室を冷やしておく事を行った。	左記の行動計画で引き続き取り組み電力量の削減を目指す
	定期的エアコンのフィルター清掃実施する	○		
	不在時の消灯と休憩時間消灯の徹底管理を実施	△		
	稼動していない機械電源OFFの徹底	△		
	パソコンOA機器等、省エネモードに切り替え実施	○		
	クールビズの徹底。(5月～10月)	○		
	ブラインドの調整による日射の遮断及び自然光の確保による照明効果の取り入れ実施する	○		
燃料(ガソリン、軽油)の 使用量削減	アイドリングストップ実施する	△	アイドリングストップは全運転者に周知していますが、夏場は猛暑日が続いていた為、車内で休息する際、エアコンを使用の為、アイドリング状態にしていました。 全車(営業車を除く)にデジタルタコグラフ、ドライブレコーダーを導入しているため、その解析結果に基づいてドライバーに指導しています。(急発進・急停止など)	左記の行動計画で引き続き取り組み燃料の削減を目指す
	急発進、急停止、しない運転を実施する	○		
	不要な荷物は積まない	○		
	適切な配車を行い、無駄な動きを行わない	△		
灯油使用量の削減	室内温度16℃から20℃を目安として、温度管理を実施する	○	冬場になると石油ファンヒータを使用しています。 今年度も室温管理を重点的に行いました。 事務所内では出来る限り日差しを取り入れるよう心がけていました。 事務員はひざ掛け等を心掛け、ウォームビズは徹底されてきました。	左記の行動計画で引き続き取り組み燃料の削減を目指す
	不在時の消火の徹底管理	○		
	ウォームビズの徹底(12月～3月)	○		

環境目標	具体的行動計画	実施状況	取組結果と評価	次年度の取組計画
水使用量の削減	水漏れの定期確認。(水道水の栓を確認)	○	節水用のホースノズル等の使用を心掛けており無駄な水を使用しない様、徹底されていました。 洗車においては高圧洗浄機を使用し節水に心がけた。	左記の行動計画で引き続き取り組み水使用量の削減を目指す
	洗車時の節水(節水シャワーの使用等)	○		
	台所及びトイレ使用に対しての水管理を徹底を実施する	○		
自社排出廃棄物の削減	廃棄していた紙類を資源とする	○	紙類の再利用、シュレッター化(事務所)は前期同様、徹底されていました。 事務所は、できる限りペーパーレス化を心掛けていました。	左記の行動計画で引き続き取り組み自社排出廃棄物の削減を目指す
	外出先で発生させたごみ(コンビニ等)を社内に持ち込まない	○		
	機密書類はシュレッダーにかける	○		
	ダンボールなど繰り返し再利用する	○		
グリーン購入の促進	エコマーク認定品の購入に努めます	○	事務用品を購入する際には、エコマークのついたものを購入しています。	エコマーク認定品の購入に努めます
地域活動への取組・参加	会社周辺清掃を定期的実施する	○	地域の催し物は全て参加して自社アピールが出来た。 会社周辺清掃も定期的に行われ地域の住民に喜ばれています。	地域活動の参加は出来る限り行う。 会社周辺清掃についても定期的実施する
	地元主催の催し物の参加	○		
新規顧客の拡大	現顧客に出向きお知り合いの事業所を紹介して頂き契約に結びつける	○	今年度は顧客訪問(特に現顧客)に多く出向いた ⇒景気が悪く紹介があまりとれていない。 会社にお問い合わせも少なかった。	左記の行動計画で引き続き取り組み新規顧客の拡大を目指す。次年度も現顧客に積極的に出向く。
	会社にお問い合わせがあった顧客(新規)へ訪問し、契約に結びつける	△		
回収漏れ件数の削減	戸別収集時に急がず、1件ずつ確認しながら回収を行う	△	ごみの回収量が多いと確認不足で見落としが発生してしまっていた。1件ずつ指差し呼称しながら回収するよう指示しました。	左記の行動計画で引き続き取り組む。回収漏れの状況を色々な角度から分析し対策をしっかりとる

* 実施状況の評価基準 : ○=出来ている、△=ある程度出来ているがもう少し、×=出来ていない

地域活動及び会社周辺清掃状況

1) カーブミラー清掃 (2025年5月24日実施)

羽村市内に設置されているカーブミラー清掃を羽村市建設防災協力会主催で実施。
(当社から1名参加)



2) 羽村市防災訓練 (2024年10月1日実施)

羽村市と災害協定を締結している為、災害時の想定訓練を行った。(2名参加)
また、羽村市建設防災協力会の一員としても参加。(1名)。



3) 全国交通安全運動 街頭活動 (2024年9月、2025年4月実施)

東京都トラック協会多摩支部第3地区主催で街頭活動を実施

9月は福生駅前、5月は青梅市内道路にて安全運転街頭活動を行った。

福生駅前

青梅市内青梅街道



4) 羽村市産業祭 (2023年11月2日、3日実施)

塵芥車を展示し、市民（特に子供たち）を車両に乗車させて楽しんでもらった。



5) 会社周辺清掃

主に祝日を利用して本社は会社周辺の道路及び近くの公園内のごみ拾い、
瑞穂車庫は会社前道路及び周辺のごみ拾いを実施。

本社前付近の道路のごみ拾い（48回実施）



瑞穂車庫周辺道路のごみ拾い（25回実施）



講習会、研修の状況

幹部社員講習会（7名）【1回/月】



社員研修会（25名）【1回/3か月】

3班に分けて実施

丸順商事(有)

～社員研修A班③～

令和6年12月12日(木)



普通救命講習（全員）11/23、12/7 実施

3年に1回の講習（救命技能認定）を行い、廃棄物を収集中に市民等に何かあれば救助できるように研修を行っています。



6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに 違反、訴訟等の有無

関連法規	適合性
廃掃法施行令	適合
東京都暴力団排除条例	適合
都民の健康と安全を確保する環境に関する条例	適合
消防法施行令	適合
自動車 NOx 法・PM 法	適合
特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）	適合
使用済小型家電機器等の再資源化の促進に関する法	適合
フロン排出抑制法	適合
道路運送車両法	適合
道路交通法	適合
貨物自動車運送事業法	適合
使用済自動車の再資源化等に関する法律	適合
市条例（羽村市・青梅市・福生市・瑞穂町・昭島市・ 武蔵村山市・入間市）	適合
労働安全衛生法	適合
労働安全衛生規則	適合

当事業所に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありません。

また、関係当局からの違反等の指摘は過去3年間ありません。訴訟についてもありません。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

【全体の取組状況及び評価結果】

令和7年7月10日

No.	項目	評価結果
1	環境関連法規制等一覧表 及び遵守状況のチェック 結果	異常なし
2	環境経営目標の達成度	<p>『電気使用量の削減』 電気消費量の大半がエアコン使用となります。当社では設定温度を守ってエアコンを稼働していましたが、今年の夏も猛暑が続いた為と売上 UP による残業増加の為、目標をクリア出来ませんでした。</p> <p>『ガソリン使用量の削減』 今期も積極的に営業活動（特に現顧客への訪問）を行った事と、遠方への活動が多かった為、目標達成出来ませんでした。その成果もあり売上 UP に繋がったのは評価できます。</p> <p>『軽油 1L あたりの売上増大』 今期は軽油使用量が減少（1.8%）しましたが売上は UP（3%）しましたので目標達成できました。効率の良い運搬ができたものと思われまます。</p> <p>『灯油使用量の削減』 冬場は石油ファンヒータを主に使用していますが、例年に比べ寒い日が多く消費量が増えてしまった。温度管理、ウォームビズ等は出来ていました。</p> <p>『水使用量の削減』 今期も車両の洗車時に高圧洗浄機を使用等、節水の意識を高く持った為、目標を達成できました。</p> <p>『自社廃棄物の削減』 今期も事務所、現場共に分別意識を高く持って取り組んだ為、目標を達成出来ました。</p> <p>『グリーン購入促進』 エコマークの用品を率先して購入していました。</p> <p>『地域活動への参加・会社周辺清掃』 今期も地域活動にも積極的に参加した。会社周辺清掃も本社、瑞穂車庫共に定期的に実施出来ました。</p>

2	環境経営目標の達成度	<p>『新規顧客の拡大』</p> <p>現顧客の訪問には積極的に行っていましたが、紹介された件数が少なく今期も思う様に新規顧客の獲得が出来なかった。問い合わせも減少傾向にあった。</p> <p>『回収漏れ件数の削減』</p> <p>人員の減少等があり、確認不足が目立ちました。後半は1件ずつ指差し呼称しながら確認することを徹底したので回収漏れが減少した。全体では目標達成出来ませんでした。</p>
3	環境経営計画の実施状況	従業員が減少していますが環境の意識が高く、実施については良好と判断致します。
4	問題点の是正・予防処置の状況	2件あげましたが、達成できなかった項目の原因は全て対策致しました。
5	外部からの苦情の有無	2件ありましたがすぐに対応・改善を行いました。再発の無いように全従業員に徹底。
6	緊急事態の訓練結果	本社現場：9月23日実施 瑞穂：9月16日実施。 本社事務所：9月23日実施 全て特に問題なし。
7	経営状況の変更	無し

【変更の必要性の有無】

No.	項目	変更の必要性
1	環境経営方針	無し（2020年9月10日改訂）
2	環境経営目標	有り（2025年～2027年度の目標値を設定した）
3	環境経営計画	無し
4	環境経営システム	無し
5	実施体制	無し

【代表者による全体の評価】

今期も夏は猛暑・冬は厳冬となり、作業者にとってはとても厳しい年になりました。

昨年は売上が減少しましたが今期は営業活動（現顧客への訪問）を積極的実施した成果と景気が上向きになった事もあり売上UP（約3%）に繋がりました。環境経営目標が未達成の箇所がありましたが理由が明らかになっている為、改善をしながら進めていければ良いと思います。従業員への人財共有（講習・研修）及び地域活動への積極的な参加・会社周辺清掃も計画通り行われ、弊社で最も重要にしている市民・顧客サービスの向上が益々期待できる事を確信しています。

次年度も更に厳しい状況下での業務が予想されますが、社員全員が一丸となって市民・顧客サービス向上に努め、目標達成に向かう組織づくりを目指していきます。